

北大、秋間美江子さんに「説明」

6月25日、本会にも説明内容を報告

「拡大幹事会」開催して活動方針討議

北海道大学は「故・宮澤弘幸氏に係る件について」と題する文書と関連資料を、本会には郵送し、秋間美江子さんには直接手渡しました。以下、この文書の概要をお知らせします。

これを受けて、北海道大学に対して秋間美江子さんへの説明内容を本会幹事に報告するよう申し入れた結果、6月25日午後、三上隆・北大副学長が幹事に説明することになりました。

幹事会は、北大の説明を受けた後、幹事会を開いて、その評価と今後の活動方針を決め、6月26日13:00から拡大幹事会を開催して報告し、今後の活動についてご意見を伺うことにしました。

北海道在住の会員のみなさま、ご都合がつかましたら、ご参加をお願いします。ご参加いただける方は、事務局までFAXまたはメールにてご一報ください。会場案内は2面です。

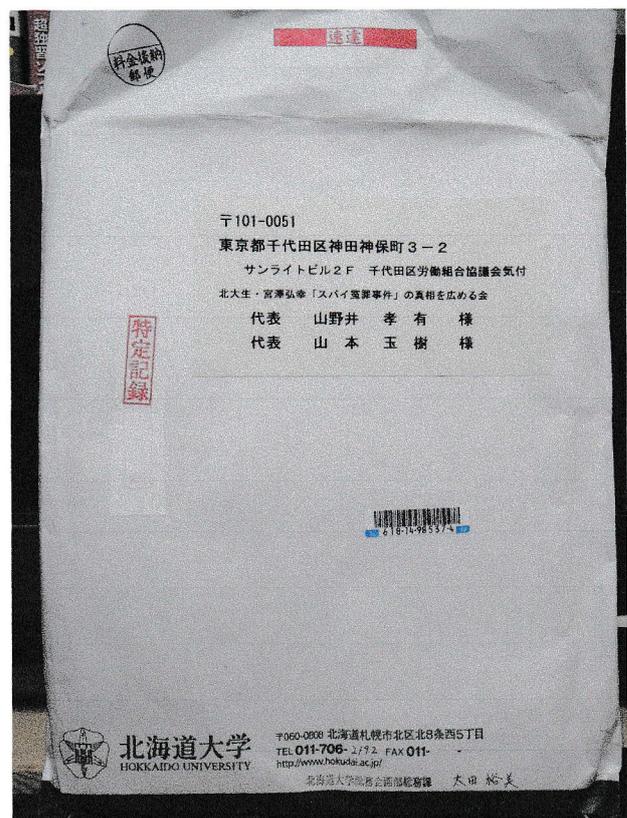
北大「報告」についての中間報告

1、宮澤弘幸の実妹・秋間美江子さんと当会代表の連名で北海道大学総長宛に申し入れた、宮澤弘幸の身分と名誉にかかる「申入書」について、北海道大学総長名の2013年5月27日付「お知らせ」が同28日、当会代表宛に速達の「特定記録」便で事務局に届いた。

また同30日、同内容が北海道大学総長代理によって在アメリカ・ボルダールの秋間美江子さんに直接「報告」された。

「お知らせ」「報告」には宮澤弘幸の北海道帝國大學の学籍簿を含む10点の同大学保管の文書(複写)が添付されている。

2、北海道大学(以下=北大)が宮澤弘幸の遺族を訪ねたのは、これが初めてであり、身分と名誉にかかる保管文書を直接明かしたのも、これが初めてになる。北海道帝國大學以来、大学外からの申入れに直接対応したのも、初めてとなる。



もちろん秋間美江子さんと当会が申し入れた「申入書」ならびに追加「質問書」「糾明書」に対する回答としては不十分であり、秋間美江子さんに対する北大としての正式な謝罪はなかった。ことを「お知らせ」「報告」でやり過ごそうとする姿勢にも誠意に欠けるものがあるが、正式に行動の伴う意思表示があったということは、秋間美江子さんに凝縮される宮澤弘幸と家族の長年にわたる篤い思いと尽力によるところであり、冤罪を晴らし、名誉を回復し、その生涯を顕彰することによって、同じ理不尽が二度と起こらないよう道筋を保障する第一歩になると受け止める。

3、今回添付された北大保管文書は、宮澤弘幸の身分と名誉にかかる重要な意味をもっている。

北大は今回「お知らせ」の中で「宮澤氏の退学及び復学については、宮澤氏ご本人からの願い出により、工学部において所定の手続きにより許可されたことが明らかとなりました。本学といたしましては、退学及び復学については、ご本人の意志として尊重するとともに、」

と、まるで官僚答弁と見紛う短絡で理解を求めているが、理解できるものではない。

この種文書の解明で大事なものは、文書自体の真偽と共に自由意志のもとで作成されたか否かにある。

既に提起し、明らかにしているように、宮澤弘幸は終始一貫「北海道帝國大學學生」で冤罪闘争を闘い抜いており、これは判決書はじめ裁判記録において公認もされている。「ご本人の意志として尊重」というなら、これぞ明快な本人の意志になる。

少なくとも、この矛盾を解かずして「退学問題」に決着をつけるような言い方をすることは許されない。ここを第一歩に公の場での検討・解明を進める必要がある。

4、一方、ボルダーにあって、秋間美江子さんは「兄・弘幸と私たちのような悲劇を繰り返してはいけない。いまの日本はそんな危険な状況にあります。真相を広める会は北大と争う会ではありません。会と向き合ってください」と諭すように訴え、北大副学長も「帰国後は総長に報告し、会の代表から申入れがあれば会って説明します」と答え、また「北大はこの冤罪事件を忘れないでほし

い」との申入れには「今後の出版物では宮澤事件をしっかりと継承する内容にします。この問題はよろそかにしません」と表明している。

5、これを受けてさっそく、北大に対し申し入れたところ、6月10日に回答があり、調整の結果6月25日に北大において直接会うはこびとなった。

よって、その前日6月24日に札幌で再度幹事会を開き、6月26日に同じ札幌で「拡大幹事会」を開いて広く会員のみなさんの意見をうかがって今後の対応・方針を決めるはこびとしく準備を進めることとする。

「拡大幹事会」ご案内

◇日時…6月26日(水) 13:30~17:00

◇会場…札幌エルプラザ内札幌市男女共同参画センター内2階、自然環境研究室 No.2

*会場確保の関係から会の名称を「宮澤弘幸と自然エネルギーの活用」主催・北大遠友学舎クラーク講座実行委員会、代表・山本玉樹としてありますので、ご了承ください。

*ご出席いただける会員のみなさまは、事務局まで、FAXまたはメールでご一報ください。また、ご質問・ご意見がありましたら、合わせてお願いします。

FAX: 03-3264-2906

メール: chyda-kr@f8.dion.ne.jp

*拡大幹事会開催後、これまでの活動経過と今後の方針等についてまとめ、「会報」でお知らせする予定です。